
保護者アンケートの感想は、 担当AIが読んで選び、文にする。 塾長はどの声をどこまで 載せるかを決めるだけ

AIエージェントの動き方の一例（見本：架空の学習塾）

株式会社SeKnAck

見本の教室・保護者・アンケート・ホームページは架空です。見本のため、ホームページはこのMacの中だけの見本のページです（公開していません）

保護者の感想は紙とフォームに分かれ、読み返して書き分ける
手間が重いため、いただいた声がしまったままになりやすい

学習塾で、夏期講習のあとの保護者アンケートを集めた時に起きること（見本の教室の例）

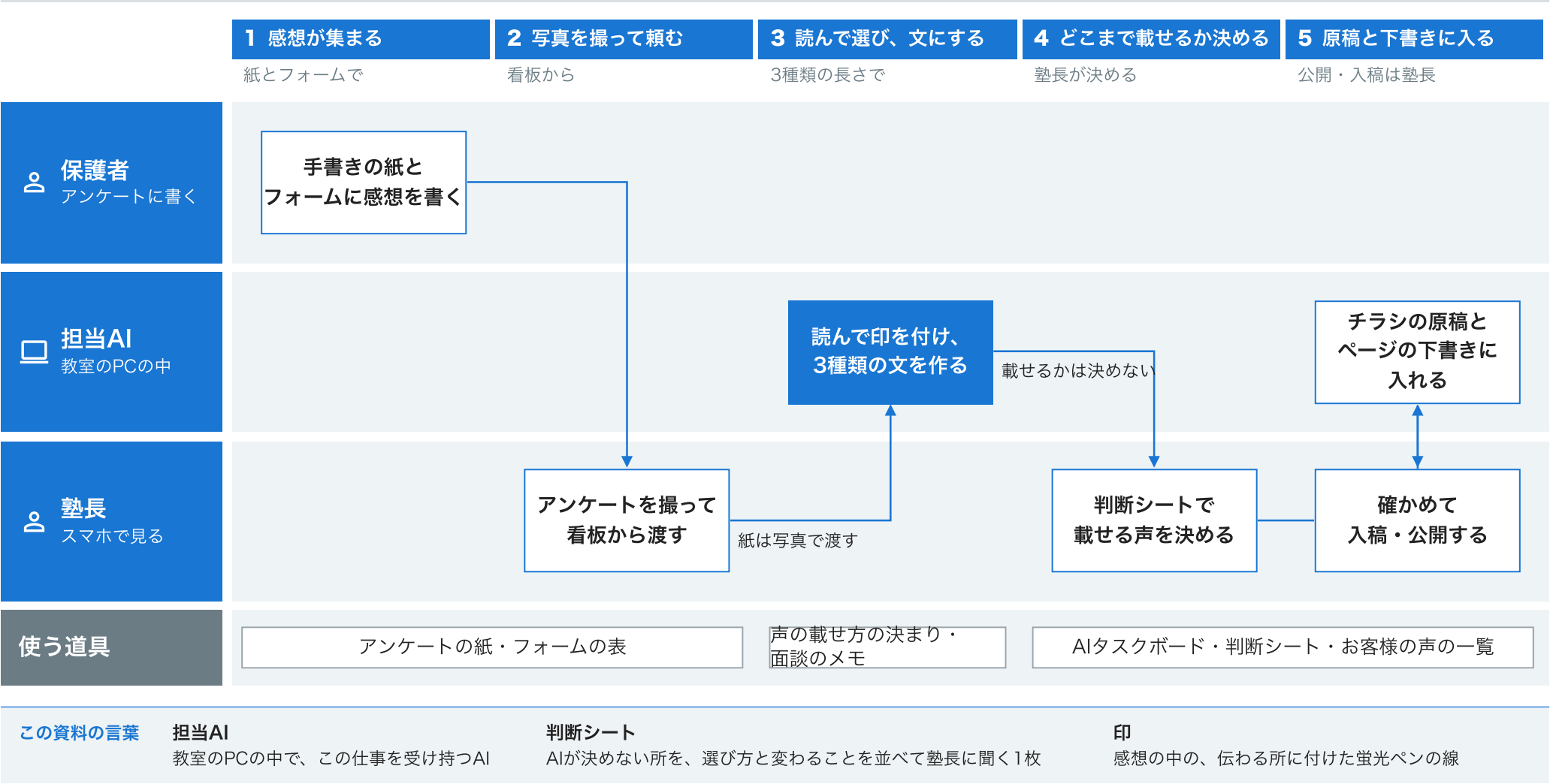
	1 感想が紙とフォームに分かれる	2 読んで載せる声を選ぶ手間	3 書き分けと、誰か分かる所								
起きていること	■ 手書きのアンケートは紙の束、 フォームの回答は表に分かれている ■ 塾長が読み返せるのは、授業の後	■ 紙の束とフォームの表を読み返し、 伝わる声と、載せてよいか（了承の欄）を 確かめる <table><tr><td>アンケート</td><td>数</td></tr><tr><td>手書きの紙</td><td>6枚</td></tr><tr><td>フォームの回答</td><td>10行</td></tr><tr><td>読む声</td><td>16件</td></tr></table>	アンケート	数	手書きの紙	6枚	フォームの回答	10行	読む声	16件	■ ホームページ・チラシ・SNSで、長さを 変えて書き分ける ■ 学校名や点数など、どのお子さんか 分かる所に気をつける
アンケート	数										
手書きの紙	6枚										
フォームの回答	10行										
読む声	16件										
そのため	➢ いただいた感想が、しまったままになる	➢ チラシの入稿（10月24日）までに、 声を選び切れない	➢ 載せてよいかの判断が後回しになり、 声が使われない								

注：1～3の手作業の流れは見本データの説明、入稿の日は担当AIが作った判断シート、数は今回の見本（夏期講習のあとのアンケート）から

出所：見本の作業場（見本の教室・保護者・アンケート・ホームページは架空）

塾長はアンケートを撮って頼み、どの声をどこまで載せるかを決めるだけで、読むことと文づくりは担当AIが引き受ける

アンケートが集まってから、チラシの原稿とページの下書きに入るまで（見本：架空の学習塾）



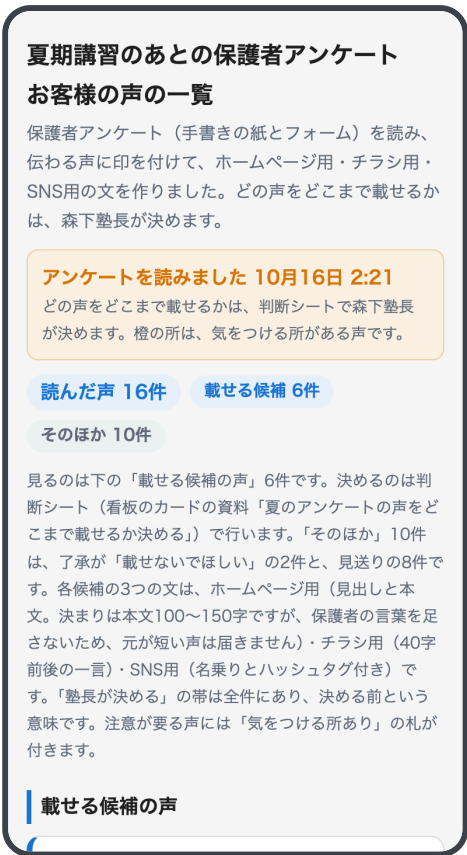
写真を添えて頼むと、担当AIは手書きの紙とフォームの回答を合わせて16件読み、面談のメモと照らす

塾長のスマホの画面（左・中）と、頼んでから担当AIがすること（右）

1 塾長が写真を添えて頼む



2 読み終えた一覧



頼んでから担当AIがすること	今回の見本で分かったこと
■ 一言欄 ➢ 「夏期講習のあとのアンケートの紙を撮りました。フォームの回答とあわせて、冬期講習のチラシとホームページに載せる声を作ってください。」と書いて始める	看板の「お客様の声を文に」から
■ 手書きのアンケート ➢ 写真を1枚ずつ開いて、感想と了承の欄を読む	写真6枚（読めない字はなし）
■ フォームの回答 ➢ 作業場の表から読む	10行
■ 面談のメモ ➢ 口頭の了承や、気をつけたい話と照らす	10月の三者面談のメモ

塾長はアンケートの紙を撮って、一言を書いて「始める」を押すだけです。フォームの回答と面談のメモは、担当AIが作業場から読みます

注：写真は担当AIが作業場の中で読みます。フォームの回答は表のまま、面談のメモは塾長が面談の後に書いた物を読みます

出所：見本の作業場で、担当AIの「お客様の声を文に」（2026年10月16日）を実際に動かした結果（見本の教室・保護者・アンケート・ホームページは架空）

担当AIが16件の感想を同じ見方で読み分け、 載せる候補を6件にしぼる

読んだ声16件（手書き6・フォーム10）を、同じ3つの見方で仕分けた結果

読んで分かった所 気をつける所（塾長に聞く）

	了承の欄	伝わる所（印）／見送った理由	気をつける所	仕分け
中学3年 手書き 1枚目	学年まで	「自分で机に向かうようになりました」	なし	候補
小学6年 手書き 2枚目	イニシャルと学年まで	「宿題のたびに泣いていました」	なし	候補
中学2年 手書き 3枚目	学年まで	「学校の進み方に合わせて教えてもらえる」	学校名・点数	候補
中学3年 手書き 5枚目	未記入	「本人の話をじっくり聞いてくださり」	紙の了承が未記入	候補
小学4年 フォーム 1行目	学年まで	「家での親子げんかが減りました」	なし	候補
小学6年 フォーム 6行目	イニシャルと学年まで	「その日の様子を先生がひと言教えてくださる」	なし	候補
小学5年 手書き 6枚目	載せないでほしい	了承の欄が「載せないでほしい」	なし	載せない
小学5年 フォーム 8行目	載せないでほしい	了承の欄が「載せないでほしい」	なし	載せない
中学1年 手書き 4枚目	学年まで	何が良かったかが分からない	なし	見送り
中学2年 フォーム 2行目	学年まで	感想が「特になし」	なし	見送り
中学3年 フォーム 3行目	イニシャルと学年まで	点数が上がった話は、手書き3枚目の方が何が良かったかまで具体的なため	点数	見送り
中学1年 フォーム 4行目	学年まで	ホームページに今載っている声（中学2年「質問しやすい」）と同じ話のため	なし	見送り
中学3年 フォーム 5行目	学年まで	自習室の話が今の声と重なり、学校名・部活で誰か分かりやすい	学校名・部活	見送り
中学2年 フォーム 7行目	学年まで	感想が書かれていない	なし	見送り
中学1年 フォーム 9行目	学年まで	良かった所は分かるが短く、通う前と後の違いが見えにくいため	なし	見送り
中学3年 フォーム 10行目	未記入	様子が分かる話はフォーム6行目の方が具体的で、了承も未記入のため	了承が未記入	見送り

注：担当AIの「お客様の声の一覧」の中身から。了承なしで載せない2件・見送り8件。学校名・部活の名前と点数は、この資料では書いていません。候補6件には、それぞれホームページ用・チラシ用・SNS用の文があります（計18本）

どの声をどこまで載せるか、了承のない声をどうするかは、担当AIは決めず、塾長が決める

載せる候補6件（左。濃い色は気をつける所がある声）と、塾長に聞く所の中身（右。画面は判断シートのQ2）

■ 気をつける所がある（2件）

載せる候補の6件

中学3年	手書き 1枚目	なし
小学6年	手書き 2枚目	なし
中学2年	手書き 3枚目	要確認
中学3年	手書き 5枚目	要確認
小学4年	フォーム 1行目	なし
小学6年	フォーム 6行目	なし

拡大：気をつける所がある2件（担当AIが決めない所）

中学2年	元の感想に学校名と点数がある （面談のメモ：塾に通っている ことを友だちにあまり 言っていない）
中学3年	紙の了承が未記入（面談で 口頭の了承はあるが、名乗りの 形は聞けていない）

誰か分かる所と了承を並べ、どこまで載せるかは塾長に聞く

Q2 ◎中学2年の声の、学校名と点数をどこまで出すか

元の感想は次のとおりです。学校名と点数と学年が並ぶと、どのお子さんか分かるおそれがあります。

（学校名はこのシートでも伏せています。元の紙では実際の中学の名前です）

◎ A 学校名も点数も伏せる おすすめ

選ぶと変わること：ホームページの文は「定期テストで、数学の点が上がりました。学校の進み方に合わせて教えてもらえるので、助かっています。」になります。点数の具体さは減ります。

シートでも学校名は伏せ、選ぶと変わる
こととおすすめの理由を並べる

注：担当AIは載せるかどうかを決めません。読んで印を付け、文を作るまでです。どの声を載せるか、個人が分かる所をどこまで出すか、保護者の了承をどう確かめるかは塾長が決めます。画面の学校名と点数の行は消しています

学校名と点数をどこまで出すかは、選ぶと変わることと面談のメモを並べた1枚で、塾長が選ぶだけで済む

担当AIが作った判断シートのQ2（左）と、その中身の比べ（右。シートの選択肢・選ぶと変わること・おすすめの理由から）

1 塾長のスマホに届くシート（Q2）

Q2 ◎中学2年の声の、学校名と点数をどこまで出すか

元の感想は次のとおりです。学校名と点数と学年が並ぶと、どのお子さんが分かるおそれがあります。

(学校名はこのシートでも伏せています。元の紙では実際の中学の名前です)

● A 学校名も点数も伏せる おすすめ

選ぶと変わること：ホームページの文は「定期テストで、数学の点が上がりました。学校の進み方に合わせて教えてもらえるので、助かっています。」になります。点数の具体さは減ります。

○ B 学校名は伏せ、点数は出す

	案A 推奨・塾長が選んだ 学校名も点数も伏せる	案B 学校名は伏せ、点数は出す	案C 両方出す（確かめてから）
選ぶと変わる こと	■ ページの文は 「定期テストで、数学の点が上がりました。…」になる。 点数の具体さは減る	■ 点数の上がり方まで載る。 伝わり方は強くなるが、点数で お子さんが分かる人も いるかもしれない	■ 保護者に確かめるまで、この 声は入れずに進める（確かめは 塾長から）
分かっている こと	■ 面談のメモ：塾に通っている ことを、学校の友だちには あまり言っていないらしい	■ 点数も、同じ学校の 友だちには分かることがある	■ 了承の欄は「学年まで」
こんな時	➤ お子さんの気持ちを先に 守りたい時	➤ 点数の伸びを伝えたい時	➤ 保護者と直接話せる時
判定	◎ 学校名も点数も伏せるのが 安全で、伝えたい所（学校の 進み方に合わせる）は残る	△ 点数でお子さんが分かる おそれ	○ 了承が取れば強いが、 チラシの入稿に間に 合わないかもしれない

注：Q1（どの声をどこに）・Q3（了承が未記入の声）も同じ1枚で聞き、Q4で入れる文そのものも確かめます。案Dの別案は下の窓に書けます。画面の学校名と点数の行は消しています

塾長が答えると、決めた声だけがチラシの原稿とページの下書きに入り、記録の表にも足される

塾長のスマホの画面（答えてから原稿と下書きができるまで。順に1～3）

1 判断シートで4つに答える

回答

選び終わったら「回答文を作る」を押し、「コピー」した文を、この依頼の看板のカードの会話欄に貼って送ってください（看板を使っていない時は、Claude の会話に送ってください）。別案などを選んだ時は、下の窓に中身を書いてから作ってください。

回答文を作るコピー最初に戻す

Q1 A / Q2 A / Q3 A / Q4 A

このあと行うこと

「回答文を作る」で「Q1 A / Q2 A / Q3 A / Q4 A」ができ、カードの会話欄に貼って送る

2 チラシの原稿に声が入る

冬期講習のチラシ（A4の片面）・森下塾長が決めた 10月16日 2:25

原稿（印刷所に渡す前）

あおば進学教室

冬期講習のご案内

期間 12月24日（木）～1月7日（木）
対象 小学4年～中学3年

個別
一人ひとりの
進み方に合わせて

自習室
21時まで
使えます

無料体験
11月中に1回
（要予約）

保護者の声

“家ではほとんど勉強しなかった息子が、夏期講習のあとから自分で机に向かうようになりました。”
中学3年の保護者さま

“文章題が苦手で泣いていましたが、図をかいて考えるやり方を教わり「わかった」と言う日が増えました。”

声の枠3つに、中学3年・K様 小学6年・小学4年の一言

3 ページの下書きに声が入る

下書き（まだ公開していません）・新しい声 5件
森下塾長が確かめてから公開します。下書きの更新 2026-10-16 02:26

あおば進学教室

小学4年～中学3年
個別指導・少人数クラス

[ホーム](#)[コースと料金](#)[保護者の声](#)[冬期講習](#)[アクリル](#)

保護者の声

アンケートでいただいた感想を、掲載の了承をいただいた方の方だけ載せています。

いただいた感想

下書きの中身です。

新しい声

夏期講習のあとから、自分で机に向かうように

新しい声5件を前に足して計8件（公開中は3件のまま）。記録の表は3行 → 8行

注：時間の目安：手作業で約70分の声の整理と文づくりが、確認の約5分になります（見本の条件での試算。担当AIの作業は約6分（見本の撮影で実測）、手作業は声1件1分×16件＋文1本3分×18本で計算）。見本のため、ホームページはこのMacの中だけの見本のページです（公開していません）

出所：見本の作業場で撮影した塾長のスマホの画面（見本の教室・保護者・アンケート・ホームページは架空）

保護者アンケートとチラシは一例で、お客様の口コミや店頭のPOPなど、今お使いの形に合わせて作り直せる

今回の見本で使った物と、御社に合わせて置き換えられる物

□ 今回の例 ■ 置き換えられる物



ここでお見せしたのは一例です。「ここをこう変えたい」をお聞かせください。

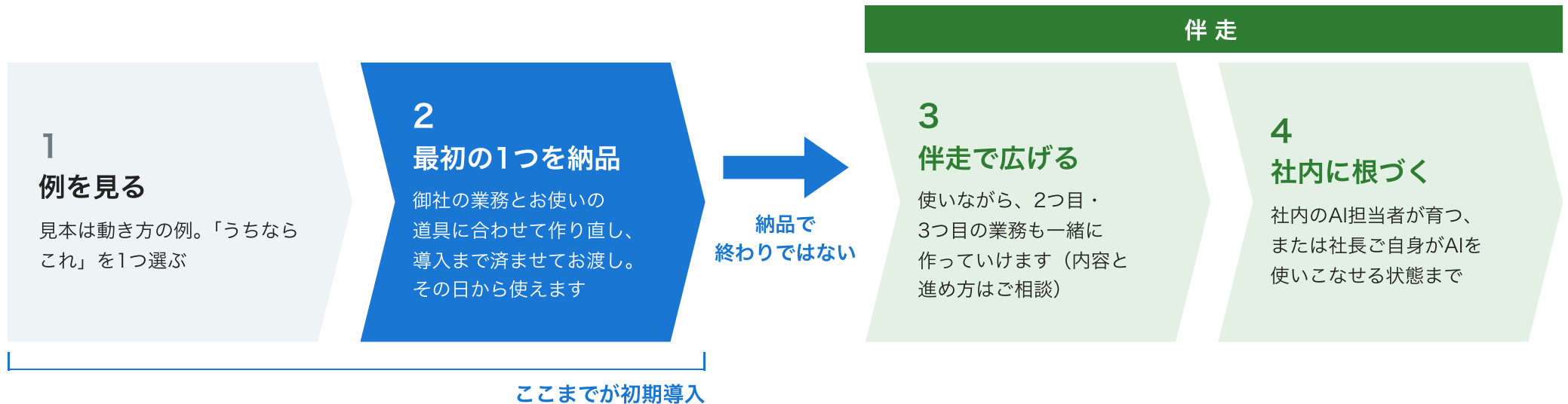
注：右の列は置き換えの例です。教室・治療院・工務店など、お客様の声を集めている業種で同じ形が使えます。実際にどれを使うかは、お話を伺ってから決めます

導入とその先

最初の1つを使える状態で納品し、その先は伴走で一緒に広げていく

最初の1つの納品から社内に根づくまでの4段と、お問い合わせ先

納品までと、その先の伴走



お問い合わせ先

資料のご請求・お問い合わせ

ai-setup@seknack.com

株式会社SeKnAck

注：伴走の内容と進め方は、ご相談のうえ決めます。

出所：株式会社SeKnAck（このページまでの画面と数字は見本の作業場の物。見本の教室・保護者・アンケート・ホームページは架空）